

専門的なトレーニング方法や集中力を保つ方法について語るロンドンオリンピック出場選手。左は司会の丸山准教授＝4号館講堂



特選に児島講師

日展 学生6人が初入選

第44回日展の審査結果が10月25日までに発表され、金沢学院大学美術文化学部の児島新太郎講師（洋画）の作品「夜想」が特選に輝いたのを、11月2日から12月9日まで、東京の国立新美術館で展示されているほか、京都、名古屋、大阪で巡回展が開かれます。在学生の入選者は次の皆さん（○は初入選）。

- ▽日本画 篠塚美沙、○鈴順加、○富田麻美、○中原梨容子、○山口理恵、朝日未希、坂井未奈▽洋画 中西真琴、○濱中いづみ、○笠鳥ゆりこ、中川雄太

脳、筋肉は高機能

五輪選手の集中法学ぶ

北國健康生きがい支援事業プログラム

北國健康生きがい支援事業「金沢学院大学プログラム」は11月10日、4号館講堂で開催され、約300人の参加者は、講演とパネルディスカッションで、体の仕組みに理解を深めました。本学関係のロンドンオリンピック出場5選手は、効率的なトレーニングや集中力を高める方法に触れ、酸素濃度の測定や半身浴による体調管理などを紹介しました。



講演では、平井敦夫スポーツ健康学部教授Ⅱ写真Ⅱがオリンピックピックの歴史や裏話、脳や筋肉の高機能について話しました。3分間の縄跳びで、オリンピック選手と一般

史や裏話、脳や筋肉の高機能について話しました。3分間の縄跳びで、オリンピック選手と一般

会場からは、集中力を高めるために工夫していることなどについて質問がありました。

のスポーツ愛好家の心拍数や血圧がどう変化し、回復するかの実験も行われました。パネル討論会では、自らもシドニーオリンピックに出場した丸山章子准教授が司会を務め、中川真依、伊藤正樹、嶋本麻美、八木かなえ、岸彩乃の5選手から、五輪出場前後に受けた専門的なトレーニングやケアについて話を聞きました。



アツキーナ人気

清鐘祭、好天で大にぎわい

金沢学院大学・短期大学の学園祭「清鐘祭」は10月20日と21日に開催され、タレントの南明奈さんのトークショーⅡ写真Ⅱや、歌手ユーアさんのミニライブなどでにぎわいました。両日とも好天に恵まれて多くの来場者がありました。サークルやクラス単位の模擬店には行列のできる場所もありました。

金沢国税局長が特別講義
金沢学院大学経営情報学部の特別講義が11月14日、4号館講堂であり、金沢国税局長の伏見俊行氏が「これからの海



講演する伏見局長

外とのつきあい方」と題して講演しました。伏見局長は、領土問題で摩擦が強くなっている中国と韓国について「両国がどう考えているか、どう誤解しているかを考え、国民がそれぞれの役割を果たしていくことが大切」と説きました。

東高生が台湾へ修学旅行
金沢学院東高校の2年生291人が11月14日から17日まで3泊4日の日程の修学旅行で台湾を訪れました。一行は、台湾新幹線に乗って、金沢市出身の八田與一が建設した烏山頭ダムやなどを訪問し、嘉義県の私立協同中学校の生徒と交流しました。